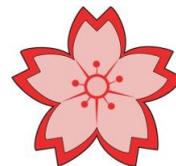


須賀川労働基準協会 通信(25年4月)

この原稿をまとめている4月9日は前日の暴風も収まって、桜も一齐に咲き出しそうな穏やかな陽気です。年度が変わり、25年度最初の「通信」をお送りします。今月号では当協会が『公益社団法人』の認可を受けたニュースをメインに3月の活動についてお知らせいたします。



<協会の名前が変わります> 公益社団法人の認可を受けました

名前が変わるとは、少々大げさですが、「登記する名称」が変更になりますので、正式なお話なのです。平成20年から法人制度が改革され、従来の「社団法人」は”一般社団法人”か”公益社団法人”のどちらかに移行しなければならなくなりました。その期限が25年の11月末でした。当協会としては、私たちの仕事は「労働安全衛生活動の推進」や「労働安全衛生法に基づく安全教育活動」など「公益事業」がメインであり、「公益社団法人」がふさわしいと考え、公益社団法人への移行申請をしておりました。

その結果、3月の25日須賀川労働基準協会の「公益社団法人」への移行が認可されましたので、みなさまへご報告いたします。この認可によって今後は正式名称が『公益社団法人須賀川労働基準協会』となります。

協会の基本的活動内容は従来と変わりはないのですが、今まで以上に『公益』社団法人であることを意識した活動が求められます。より広く、地域社会・一般市民の皆様役に役立つ活動を進めてまいります。

<協会の最近の活動報告>

「衛生管理者研修会」(県協会主催)参加

3月7日・8日

毎年3月に福島県労働基準協会が主催して「衛生管理者研修会」が開催されております。この研修会は福島県全県から、100名を超える皆さんに参加をいただいております。須賀川からは5社に、参加をいただきました。

内容としては、衛生管理者あるいは社内の衛生管理を担当している方にふさわしい講習会で、1日目が「働く女性の健康管理」をテーマに長井聡里先生から講演をいただき、二日目は「ストレス一日決算主義」の表題で、山本晴義先生の話をお聞きしました。



「玉掛技能講習」 3月14日・15日・17日

玉掛技能講習は年3回実施しております。

玉掛技能は「荷役作業」には必須資格で、当協会が実施している「技能講習」(ガス溶接・床上操作クレーン)の中では、もっとも受講者が多い講習です。

3月には30名を超える方に受講いただきました。さらに受講者が増加するようであれば、現行の年3回に加えて、講習会の回数を増やすことも検討したいと思います。次回は5月。



「福島県労働保健センター・産業保健センター」衛生懇談会 3月26日

当協会と協力関係にある「福島県労働保健センター」と「福島県産業保健推進センター」共済の衛生懇談会に参加をいたしました。報告と講演の内容でしたが、「チェルノブイリの現状」と「ホールボディカウンターから見る福島の現状」を勉強してまいりました。

「県内労働基準協会連絡会」 「福島労働局主催 災防団体連絡会」

3月25日

年度末の3月25日、福島市において「県内労働基準協会連絡会」を開催しました。県内には9つの地区労働基準協会がありますが、年に数回相互の情報交換会を開催しております。今回は、年度のまとめと、新年度の計画を中心に相互に報告を行いました。

秋の福島県産業安全大会は10月2日、須賀川市で開催されることを再確認しております。

同日の午後には福島労働局におきまして、福島県内の災防団体の連絡会が開催され、出席してまいりました。この会議は労働基準協会や「建設業労働災害防止協会」「陸上貨物運送事業労働災害防止協会」などが参加し、労働局の平成25年度労働矯正運営方針の説明を受け、各協会からも活動方針を報告する会議です。

ここでは、福島労働局の行政運営方針を抜粋して、報告といたします。

<監督関係>

1. 平成25年度における監督指導業務の最重点施策

- (1) 原発での廃止措置等に向けた作業に従事する労働者の安全と健康確保
- (2) 除染作業に従事する労働者の安全と健康確保対策及び労働条件確保
- (3) 復旧・復興工事に従事する労働者の安全と健康確保

2. 平成25年度における監督指導業務の重点施策

- (1) 過重労働における健康障害防止対策
- (2) 労働災害防止対策
- (3) 一般労働条件の確保・改善対策
- (4) 最低賃金の履行確保対策
- (5) 労災かくしの排除対策
- (6) 自動車運転者の労働条件確保対策
- (7) 介護労働者の労働条件確保対策



<健康安全関係>

第12次労働災害防止計画(平成25年～29年)

- (1) 死亡災害の撲滅を目指して、平成24年度と比較して、平成29年度までに労働災害による死亡者の数を15%以上減少させる。
- (2) 平成24年度と比較して、平成29年度までに休業4日以上の死傷者数を15%以上減少させる

「マーレエンジンコンポーネンツジャパン(株)平田工場が無事故5000日達成」

平田村のマーレエンジンコンポーネンツジャパン(以下MECJと略)では17年以上無事故を継続し、この度連続5000日無事故を達成し、工場内で安全大会ならびに祝賀会を開催しました。協会からは吉田会長と大倉専務理事が出席、会長から5000日無事故をたたえるお祝いの挨拶をしていただきました。

安全大会には本社のアイヴァンAレネハン社長も出席し、従業員の安全管理活動の成果に賞賛の言葉を述べられました。

(流ちょうな日本語でした)



レネハン社長



吉田会長